

市民と高松市議会議員との意見交換会

日時：令和4年11月7日（月） 午後1時30分～午後3時

会場：高松市役所 13階 大会議室

【午後1時30分】

議会運営委員会の 田井久留美副委員長の司会で、市民と高松市議会議員との意見交換会を開会いたしました。

開会に当たっては、白石義人副議長が挨拶をして、次に、議会運営委員会の藤原正雄委員長が意見交換会の進め方等を説明しました。

その後、4グループに分かれて、テーマごとに意見交換をするため、会場内で席を移動しました。

市民の皆様には、それぞれ、興味のあるテーマのグループに入ってもらいました。



【午後1時40分～】

市議会の常任委員会ごとのグループに分かれ、各常任委員会が調査・研究しているテーマについて、市民の皆様と意見交換を行いました。

グループ1（総務常任委員会）

テーマは、「ふるさと納税を推進し高松の魅力を発信していくために」でしたが、残念ながらこのテーマを選ぶ市民の参加者がいらっしゃいませんでしたので、調査・研究の取りまとめに向けて、当局と意見交換を行いました。

グループ2（教育民生常任委員会）

テーマは、「地域と学校の連携を強化し、地域全体で子供を育てていくために」

まず、住谷篤志副委員長からテーマの概要を説明し、中村伸一委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

地域で様々な活動をされている方々や子育て中の保護者に御参加いただき、「地域と学校をつなぐコーディネーターの配置が重要」や、「コーディネーターだけでなく、みんなで良くする受け皿づくりが必要」などの意見のほか、「モデル通りでなく、各地域に合った枠組み作りを検討する必要がある」など、それぞれの御経験などから、熱心な御意見をいただきました。



グループ3（経済環境常任委員会）

テーマは、「農家だけじゃない。農業の担い手を増やすために」

まず、辻正彦副委員長からテーマの概要を説明し、橋本浩之委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

実際に農業に携わる方々にもたくさんご参加いただき、今後担い手を増やすためには、「作る喜び、加工・販売する喜びを味わってもらえるプラットフォームを構築する」や「地元の農作物を食べてもらう機会を創出する」などの御意見をいただいたほか、「自然と儲かる仕組みが必要なのではないか」などたくさんの御意見・御提案をいただきました。



グループ4（建設消防常任委員会）

テーマは、「魅力的な臨海部を目指して土地利用の在り方を考える」

まず、斉藤修副委員長からテーマの概要を説明し、杉本勝利委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

意見交換の中では、「用途地域の設定は需要と供給が大事なのではないか」や、「集客できる施設を配置することも大事だが、あらかじめビジョンをもって、道路網も含めた整備が必要なのではないか」などのさまざまな意見・提言をいただきました。



【午後2時45分】

再度、元の場所に集合し、各常任委員長から、グループごとの議論の概要等を発表した後、藤原正雄議会運営委員長からお礼の挨拶をして、意見交換会を終了しました。

実施したアンケートでは、市民の皆様から、「子育て中の保護者の意見が聞けてとても良かった」や「興味だけで参加したが、有意義であった」との感想のほか、「もう少し色々な人が参加できるように、複数回、場所を変えてやってみてはどうか」との御要望もいただき、とても有意義な意見交換会となりました。

御参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

